

彼岸

春と秋にお彼岸がそれぞれ一週間ずつあります。この彼岸という言葉。実は、とっても大切な仏教の言葉です。

こちら側の岸（此岸）に対しての彼岸（向こう側の岸）。つまり、私たちが生きている欲望蠢く、煩悩だらけの世界に対して、欲望を捨て去った清浄の世界。悟りの世界と言い換えてもいいですね。その世界を「彼岸」と呼びます。

そして、その世界に到る事。それを「到彼岸」と言います。つまり、悩み多く、欲望強く、常に迷っている私が、煩悩という川を渡って、悟りの世界に到る事。それが「到彼岸」です。

ですから、彼岸（悟りの世界）とは決して死後の世界という事ではありません。

この彼岸という行事は、普段自分を省みる事も無く、自分が迷っている事にすら気づいていない私が、せめて気候の良いこの時期に、自分を省みて、自分自身の姿を見つめ直す縁としましょう、と営まれる行事です。